

31 肥料の国産化・安定供給

令和9年度予算概算要求額 10,034百万円（前年度 34百万円）

<対策のポイント>

肥料の国産化に向けて、畜産業由来の堆肥や下水汚泥資源などの国内資源の肥料利用を推進するため、**肥料の原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者の連携づくりや施設整備等を支援するとともに、価格転嫁が間に合わない場合に必要となる肥料価格急騰対策に関する調査等**を実施します。

また、**化学肥料原料の備蓄及びこれに要する保管施設の整備を支援**します。

<事業目標>

肥料の使用量（リンベース）に占める国内資源の利用割合を拡大（40%〔令和12年度まで〕）

畜産分野の温室効果ガス排出削減（29万t-CO₂〔令和7年度→令和12年度まで〕）（1の①の事業）

<事業の内容>

<事業イメージ>

- 1. 国内肥料資源利用拡大対策事業** **7,008百万円**（前年度 8百万円）

①**施設整備等への支援**

ア 堆肥等の高品質化・ペレット化など、広域流通等に必要な施設整備等を支援します。【補助上限額：20億円（一部を除く）】

イ 温室効果ガスの排出削減に資する家畜排せつ物の管理方法への変更を行うための施設整備等を支援します。

②**国内資源の肥料利用拡大等の取組への支援**

ア ほ場での効果検証の取組、成分分析、検討会開催、機械導入等を支援します。【補助上限額：肥料の試作2百万円、それ以外3千万円（いずれも機械導入費を除く）（一部は補助上限額なし）】

イ 関係事業者間のマッチングや理解醸成、販路開拓指導等の取組を支援します。

③**肥料価格急騰対策に関する調査**

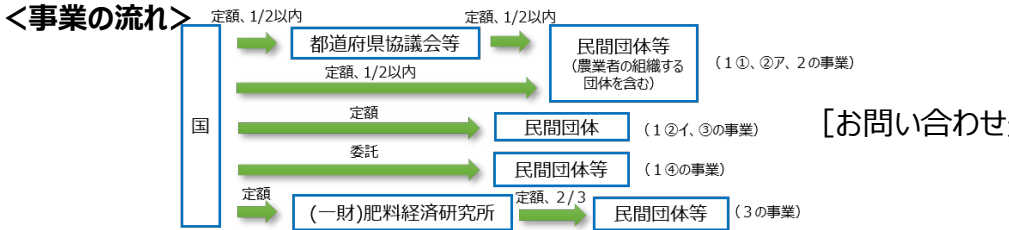
国内外の肥料原料価格等の動向を把握する調査を行います。

④**国内資源の肥料利用拡大に向けた調査**

国内資源の肥料利用の効率化に必要な全国の土壌養分等の状況を調査します。
- 2. 家畜排せつ物堆肥流通性向上加速化支援事業** **3,000百万円**（前年度 - ）

堆肥センター等共同利用施設における、家畜排せつ物由来の堆肥の肥料利用の促進に必要な施設整備等を支援します。
- 3. 肥料原料備蓄対策事業** **26百万円**（前年度 26百万円）

主要な肥料原料の備蓄及びこれに必要な保管施設の整備を支援します。



原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者の間で連携計画を作成した者へ支援

原料供給事業者	肥料製造事業者	肥料利用者
堆肥の高品質化等に必要な施設等の整備支援 - 堆肥処理施設 - 乾燥施設・臭気設備 - 強制発酵装置 等 肥料向けの国内資源の供給実証支援 - 資材購入費 - 成分分析費 等	肥料の製造施設等の整備支援 - ペレット化施設 - 乾燥施設・臭気設備 等 肥料の試作支援 - 資材購入費 - 成分分析費 等	肥料の利用機械等の導入支援 - 堆肥等散布機 - 土壌分析機 等 肥料の効果検証支援 - 資材購入費 - 土壌分析費 等

肥料利用者が使いやすい肥料の実用化・利用拡大

高品質な堆肥

ペレット肥料

有機入り配合肥料

地力調査

肥料価格等調査

化学肥料の過度な輸入依存の低減

（1①ア、②、③、3の事業） 農産局技術普及課 （03-6744-2107）

（1②ア、④の事業） 農業環境対策課 （03-3593-6495）

（1①、②、2の事業） 畜産局畜産振興課 （03-6744-7189）